

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ-I		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡ-I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客が出来る ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる				
評価基準	①授業態度他 20%・接客態度他 40%・技術レベル 30% ②レポート 10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級・1級/JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	広瀬 裕美子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにて19年勤務。現在プライベートネイルサロンのオーナーを務める。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次復習	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ ・BEAUTY SHOW を通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける
2	サロンワーク技術	同上
3	サロンワーク技術	同上

4	サロンワーク技術	同上
5	サロンワーク技術	同上
6	サロンワーク技術	同上
7	サロンワーク技術	同上
8	サロンワーク技術	同上
9	サロンワーク技術	同上
10	サロンワーク技術	同上
11	サロンワーク技術	同上
12	サロンワーク技術	同上
13	サロンワーク技術	同上
14	サロンワーク技術	同上
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅢ-I		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅢ-I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		45
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する ②「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客が出来る ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる				
評価基準	①授業態度他 30%・接客態度他 40%・技術レベル 30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級・1級/JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	広瀬 裕美子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにて19年勤務。現在プライベートネイルサロンのオーナーを務める。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期振り返り	・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	サロンワーク技術	同上
3	サロンワーク技術	同上
4	サロンワーク技術	同上

5	サロンワーク技術	同上
6	サロンワーク技術	同上
7	サロンワーク技術	同上
8	サロンワーク技術	同上
9	サロンワーク技術	同上
10	サロンワーク技術	同上
11	サロンワーク技術	同上
12	サロンワーク技術	同上
13	サロンワーク技術	同上
14	サロンワーク技術	同上
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティ科	1	15
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社 ADE CREATES	

科目の基礎情報②

授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。 また、人間力が構築され、社会人として活躍できる人材になっている。				
到達目標	希望の就職先に内定				
評価基準	テスト：10% 提出物・課題：50% 授業態度：40%				
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目	就職対策Ⅰ・就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上垣 裕子他	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	夢	2年生になって、ここからの目標・学校生活、就職について
2	人間力	人間関係の構築・就職活動（GWの課題）
3	人間力	集団行動の大切さ・就職活動の課題
4	夢	企業研究
5	人間力	プレゼンテーション・グループディスカッション
6	人間力	チームワーク（熱い動画）

7	夢	美容業界リサーチ
8	人間力・夢	就職先リサーチ・ディスカッション
9	人間力	チームワークとやりきる力
10	人間力	行事を通してのクラス、学年の団結の振り返りとこの先へ向けて
11	夢	美容業界の知識を深める
12	夢	若手実業家（動画）
13	夢	企業研究・話す力・聴く力、夏休みの課題について
14	夢	課題のプレゼンテーション
15	人間力	前期の振り返り（目標達成度の確認）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社 ADE CREATES	

科目の基礎情報②

授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。 また、人間力が構築され、社会人として活躍できる人材になっている。				
到達目標	希望の就職先に内定				
評価基準	テスト：10% 提出物・課題：50% 授業態度：40%				
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目	就職対策Ⅰ・就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上垣 裕子他	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人間力	オリエンテーション（なりたい自分に向けて） レクレーション
2	人間力	担任の想い
3	夢	一般常識
4	夢	社会人として求められているもの
5	人間力	愛される人材とは
6	人間力	メンタルトレーニング①

7	人間力	メンタルトレーニング②
8	夢	企業研究
9	人間力	感謝の気持ち
10	夢	企業研究
11	夢	CASE スタディ①
12	夢	CASE スタディ②
13	人間力	卒業してからの自分を想像する
14	夢	企業研究の総まとめ
15	夢	2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅠ-A		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅠ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		30
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・和装スリップ(下着)・クリップ(2)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け3級(6月強制受験 免許強制) を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	着付けⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付(裾線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	小紋の着付(お端折の作り方)を学び実践する

5	小紋の着せ方 4	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する
6	小紋の着せ方 5	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
7	小紋の着せ方 6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方 7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付け 3級検定（小紋の着付と蝶結び 20分）を実施する
11	座学 1	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する たたみ方テストを実施する
13	小紋と名古屋帯 1	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
14	小紋と名古屋帯 2	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（仕上げ）と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付け I		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		30
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・和装スリッパ(下着)・クリップ(2)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け3級(6月強制受験 免許強制) を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	着付け II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付(裾線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	小紋の着付(お端折の作り方)を学び実践する

5	小紋の着せ方 4	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する
6	小紋の着せ方 5	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
7	小紋の着せ方 6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方 7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付け 3 級検定（小紋の着付と蝶結び 20 分）を実施する
11	座学 1	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する たたみ方テストを実施する
13	小紋と名古屋帯 1	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
14	小紋と名古屋帯 2	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（仕上げ）と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		30
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・和装スリップ(下着)・クリップ(2)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け2級(12月強制受験 免許任意) を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	着付けⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入、 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
2	振袖の着せ方2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
3	振袖の着せ方3	ふくら雀の結び方について学び実践する

4	振袖の着せ方 4	振袖の着付を仕上げる (検定対策)
5	振袖の着せ方 5	振袖の着付を仕上げる (検定対策)
6	振袖の着せ方 6	振袖の着付を仕上げる (検定対策)
7	振袖の着せ方 7	振袖の着付を仕上げる (検定対策)
8	振袖の着せ方 8	振袖の着付を仕上げる (検定対策)
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付け 2級検定試験 (振袖にふくら雀 30分) を実施する
11	座学 2	着物の TPO (プリント③④) について
12	小紋の着方	小紋の着方 と 名古屋帯のお太鼓結び (自装) を学び実践する また、着物の立居振舞についても学び実践する
13	留袖の着せ方 1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
14	留袖の着せ方 2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
15	総合学習	女袴の着せ方と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティー接客 I		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティー接客 I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ビジネスシーンで使える外国語の基礎と知識を学ぶ・接客に必要な外国語が出来るようになる				
到達目標	自己紹介から、接客に必要な外国語を話すことができ、受け答えができるようになる				
評価基準	テスト 50%、授業意欲 30%、提出物 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	三木綾乃	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティスト				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業ルール、授業目的説明
2	自己紹介	英語で自己紹介が出来るように
3	自己紹介	英語で自己紹介が出来るように
4	外国語文化について①	挨拶、リアクション、語学の違い
5	外国語文化について②	挨拶、リアクション、語学の違い
6	外国語文化について③	挨拶、リアクション、語学の違い

7	接客単語①	接客単語、化粧品英語
8	接客単語②テスト	接客単語、化粧品英語
9	カウンセリング①	メイクカウンセリング
10	カウンセリング②	メイクカウンセリング
11	数字、単位、会計	ネイティブが使う数字の読み方、アメリカで使う単位、お会計で使う英文
12	世界での美の基準、違い①	日本とは違う世界での美の基準を知る
13	世界での美の基準、違い②	日本とは違う世界での美の基準を知る
14	海外留学について	海外で活動する方法や違い
15	まとめ	まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティー接客Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティー接客Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ビジネスシーンで使える外国語の基礎と知識を学ぶ・接客に必要な外国語が出来るようになる				
到達目標	自己紹介から、接客に必要な外国語を話すことができ、受け答えができるようになる				
評価基準	テスト 50%、授業意欲 30%、提出物 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	三木綾乃	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティスト				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	流行	海外での流行、英単語など
2	タッチアップ時の会話①	タッチアップ時に使える英文
3	タッチアップ時の会話②	タッチアップ時に使える英文
4	リスニング強化①	ネイティブの発音、略語などを覚える
5	リスニング強化②	ネイティブの発音、略語などを覚える
6	スピーキング強化①	英文を読む、話す

7	スピーキング強化②	英文を読む、話す
8	電話対応①	電話で予約を受ける
9	電話対応②	電話で予約を受ける
10	電話対応③テスト	電話で予約を受ける
11	文書の書き方①	文章・メールのやり取り
12	文書の書き方②	文章・メールのやり取り
13	雑談力①	コミュニケーションの取り方
14	雑談力②	コミュニケーションの取り方
15	まとめ	まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビューティメイクI-E		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティメイクI-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティ科	2	60
使用教材	メイク道具一式		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、トレンド感のあるメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	樋口裕美子	実務経験	○		
実務内容	美容部員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明 対策①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーション詳細説明・練習
2	アドヴァンス検定対策②	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
3	アドヴァンス検定対策③	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
4	アドヴァンス検定対策④	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
5	アドヴァンス検定対策⑤	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
6	アドヴァンス検定対策⑥	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策

7	アドヴァンス検定対策⑦	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
8	アドヴァンス検定対策⑧	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
9	アドヴァンス検定最終確認	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
10	パーソナルカラーメイク スプリング	パーソナルカラー春タイプメイク提案・練習を行う
11	パーソナルカラーメイク サマー	パーソナルカラー夏タイプメイク提案・練習を行う
12	パーソナルカラーメイク オータム	パーソナルカラー秋タイプメイク提案・練習を行う
13	パーソナルカラーメイク ウィンター	パーソナルカラー冬タイプメイク提案・練習を行う
14	テスト	パーソナルカラー4タイプの中からモデルに似合うメイクの施術を行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビューティメイクⅡ-E		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティメイクⅡ-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティ科	2	60
使用教材	メイク道具一式		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、トレンド感のあるメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビューティメイクⅠ-E、ファッションⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	樋口裕美子	実務経験	○		
実務内容	美容部員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション パーソナルトレンドメイク10代	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 10代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクの提案・練習を行う
2	パーソナルトレンドメイク20代	20代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクの提案・練習を行う
3	パーソナルトレンドメイク30代	30代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクの提案・練習を行う
4	パーソナルトレンドメイク40代	40代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクの提案・練習を行う
5	パーソナルトレンドメイク50代 以降	50代以降のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクの提案・練習を行う
6	テスト	パーソナルトレンドメイクのテスト、年齢に合わせたメイクの提案・施術テスト

7	イベントメイク①	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
8	イベントメイク②	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
9	イベントメイク③	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
10	イベントメイク④	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
11	職業別メイク①	姉妹校分野を参考に職業別のメイク提案・練習を行う
12	職業別メイク②	姉妹校分野を参考に職業別のメイク提案・練習を行う
13	職業別メイク③	姉妹校分野を参考に職業別のメイク提案・練習を行う
14	職業別メイク④	姉妹校分野を参考に職業別のメイク提案・練習を行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブランドリサーチ I		
必修選択	選択	(学則表記)	ブランドリサーチ I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・メイクの業界で求められる化粧品のブランドについての知識を説明できるようにする ・化粧品ブランドと有名な製品を理解する ・ブランドの特長を理解し、各ブランドの違いを知る 				
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	カウンセリングⅠ、カウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小野寺晃代	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティスト				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 化粧品ブランドの種類	授業の目的目標、評価基準、授業ルール どのようなブランドがあるのか
2	国産ブランド①	資生堂について（歴史・有名なアイテム 等） 資生堂の傘下ブランドを知る
3	国産ブランド②	花王・コーセー化粧品（歴史・有名なアイテム 等） 花王・コーセー化粧品の傘下ブランドを知る
4	国産ブランド③	その他国産ブランド（ピアス 等）
5	外資系ブランド①	ELC ジャパン・LVMH（歴史・有名なアイテム 等） ELC ジャパン・LVMH の傘下ブランドを知る

6	外資系ブランド②	ロレアル（歴史・有名なアイテム 等） ロレアルの傘下ブランドを知る
7	外資系ブランド③	その他外資系ブランド（シャネル・マリークワント・クラランス等）
8	セミセルフブランド	FGJ・イセタンミラー・@コスメ 等 セミセルフブランドの特徴を知る 取り扱い製品の違いを知る
9	スキンケアアイテム	スキンケアの有名なアイテムを知る スキンケアの最新のアイテムを知る
10	メイクアイテム	メイクアイテムの有名なアイテムを知る メイクアイテムの最新のアイテムを知る
11	デパートコスメ	高級ブランドの特長を知る
12	プチプライスコスメ	プチプライスコスメの特長を知る
13	上半期ベストコスメ	上半期ベストコスメのアイテムを知る どのような特長があるかを研究する
14	テスト	テストを実施する
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブランドリサーチII		
必修選択	選択	(学則表記)	ブランドリサーチII		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・メイクの業界で求められる化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける ・化粧品ブランドと有名な製品を理解する ・ブランドの特長を理解し、各ブランドの違いを知る 				
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	カウンセリングⅠ、カウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小野寺晃代	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティスト				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 化粧品ブランドの種類	授業の目的目標、評価基準、授業ルール どのようなブランドがあるのか
2	フレグランス基礎知識	フレグランスの基礎知識を知る
3	フレグランスブランド	フレグランスの有名なアイテムを知る フレグランスが有名なブランドを知る
4	韓国コスメ スキンケア編	韓国コスメの有名なスキンケアブランドを知る
5	韓国コスメ メイクアップ編①	韓国コスメの有名なメイクブランドを知る

6	ボディケア・ヘアケアブランド①	ボディケア・ヘアケアブランドを知る ボディケア・ヘアケアブランドの特長を知る
7	ボディケア・ヘアケアブランド②	ボディケア・ヘアケアブランドを知る ボディケア・ヘアケアブランドの特長を知る
8	メンズブランド	メンズ化粧品ブランドを知る メンズ化粧品の特長を知る
9	オーガニック化粧品	オーガニック化粧品について知る
10	オーガニックブランド①	有名なオーガニックブランドを知る
11	オーガニックブランド②	有名なオーガニックブランドを知る
12	ブランドマップ	ブランドの特長をまとめる
13	下半期ベストコスメ	下半期ベストコスメのアイテムを知る どのような特長があるかを研究する
14	テスト	テストを実施する
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	カウンセリング I		
必修選択	選択	(学則表記)	カウンセリング I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	日本化粧品検定準 2 級・3 級テキスト、2 級テキスト 2 級問題集		出版社	主婦の友社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	化粧品販売員として必要な知識を身に付ける				
到達目標	化粧品販売員として必要な化粧品や皮膚構造の知識、肌悩みに合わせた化粧品選びとメイクアップテクニック、生活習慣の知識を身に付け、日本化粧品検定 3 級、2 級を取得する。				
評価基準	検定 3 級：10% 検定 2 級：30% 小テスト：20% 提出物：20% 意欲：20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	日本化粧品検定 2 級・3 級				
関連科目	カウンセリング II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	北このみ	実務経験	○		
実務内容	美容部員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 3 級対策①	授業の流れ、到達目標について、検定について理解する まちがえがちな美容知識について学ぶ①
2	3 級対策②	まちがえがちな美容知識について学ぶ②
3	3 級検定実施	授業内で 3 級を受験する
4	2 級対策①	皮膚の構造、皮膚のしくみと働きについて学ぶ
5	2 級対策② 小テスト①	皮膚の構造、皮膚のしくみと働き、皮膚の機能について学ぶ ここまでの範囲の小テストを実施する

6	2級対策③	肌悩みの原因とお手入れについて学ぶ（乾燥、尋常性挫創）
7	2級対策④	肌悩みの原因とお手入れについて学ぶ（毛穴、しみ、くすみ）
8	2級対策⑤ 小テスト②	肌悩みの原因とお手入れについて学ぶ（くま、しわ・たるみ） 6回目以降の範囲の小テストを実施する
9	2級対策⑥	メイクアップの基本テクニック、肌悩みに応じた化粧品の使い方を学ぶ
10	2級対策⑦	肌を劣化させる要因について学ぶ
11	2級対策⑧	紫外線が肌に与える影響について学ぶ
12	2級対策⑨	効果的なマッサージの必要性和方法、美しい肌をつくる生活習慣について学ぶ
13	2級模試①	2級模試を実施する
14	2級模試②	2級模試を実施する
15	2級受験	授業内で2級を受験する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	カウンセリングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	カウンセリングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	日本化粧品検定準2級・3級テキスト、2級テキスト		出版社	主婦の友社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	化粧品販売員として必要な知識、技術を身に付ける				
到達目標	化粧品販売員として必要な化粧品や皮膚構造の知識、肌悩みに合わせた化粧品選びとメイクアップテクニック、生活習慣の知識を身に付け、日本化粧品検定1級を任意で受験する。 化粧品販売員として必要な立ち居振る舞いやカウンセリング販売の知識を身に付ける。				
評価基準	テスト：60% 提出物：20% 意欲：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	日本化粧品検定1級（任意）				
関連科目	カウンセリングⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	北このみ	実務経験	○		
実務内容	美容部員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1級試験対策①	化粧品の歴史、スキンケア化粧品の原料と基礎知識について学ぶ
2	1級試験対策②	メイクアップ化粧品の原料と基礎知識について学ぶ
3	1級試験対策③	化粧品にまつわる効能や表示のルールを学ぶ
4	カウンセリング販売の基本	お客様とコミュニケーションをとり、悩みに対する最適な解決策と商品を提案する方法を学ぶ
5	年代別カウンセリング販売①	10～20代の肌悩みに合わせたメイクとスキンケアアイテムのカウンセリング販売方法を学ぶ

6	年代別カウンセリング販売②	30～40代の肌悩みに合わせたメイクとスキンケアアイテムのカウンセリング販売方法を学ぶ
7	年代別カウンセリング販売③	50～60代の肌悩みに合わせたメイクとスキンケアアイテムのカウンセリング販売方法を学ぶ
8	スキンケアブランドタッチアップ	スキンケアブランドのタッチアップ方法を身に付ける
9	メイクブランドタッチアップ	メイクブランドのタッチアップ方法を身に付ける
10	タッチアップトレーニング① 実技テスト①	アイメイククレンジングとアイメイクリタッチをタイムアタックで実施する 化粧品販売員とお客様役のロールプレイング形式で実技テストとして行う
11	タッチアップトレーニング② 実技テスト②	ベースメイククレンジングとベースメイクリタッチをタイムアタックで実施する 化粧品販売員とお客様役のロールプレイング形式で実技テストとして行う
12	タッチアップトレーニング③ 実技テスト③	クレンジングからフルメイクをタイムアタックで実施する 化粧品販売員とお客様役のロールプレイング形式で実技テストとして行う
13	SNSを活用した販促	インスタグラム、TikTokなどのSNS広告を作成する
14	ビジュアルマーチャンダイジング	百貨店、化粧品専門店等でのビジュアルマーチャンダイジング（店頭ディスプレイ）を学ぶ
15	販促コンテスト	SNSとビジュアルマーチャンダイジングの販促コンテストを行う
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	クリエイティブヘアメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	クリエイティブヘアメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式 ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジデジタルテキスト		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ショーや撮影など様々な場面で施すヘアメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする				
到達目標	トレンド・年代別・ショーヘアメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なヘアメイク技術と知識を身に付ける 様々なヘアメイクが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける				
評価基準	テスト 50%、提出物 30%、授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	三木綾乃	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティスト				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラー・ヘアアイロンなど)/振り返り
2	テーマに合わせたヘアスタイル①	テーマに合わせて展開図を作りヘアスタイルを考える(導入・練習)
3	テーマに合わせたヘアスタイル②	テーマに合わせて展開図を作りヘアスタイルを考える(練習)
4	テーマに合わせたヘアスタイル③	テーマに合わせて展開図を作りヘアスタイルを考える(ミニテスト・振り返り)
5	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)

6	夜会巻①	夜会巻・本夜会(導入・練習)
7	夜会巻②	夜会巻・本夜会(練習)
8	夜会巻③	重ね夜会・本夜会(ミニテスト・振り返り)
9	洋装①	ブライダルメイクの基本(ベースメイク)
10	洋装②	ブライダルメイクの基本(ポイントメイク)
11	洋装③	ブライダルメイクの基本(お色直し・ドレス別)
12	洋装④	テスト、振り返り
13	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
14	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	クリエイティブヘアメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	クリエイティブヘアメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式 ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジデジタルテキスト		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ショーや撮影など様々な場面で施すヘアメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする				
到達目標	トレンド・年代別・ショーヘアメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なヘアメイク技術と知識を身に付ける 様々なヘアメイクが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける				
評価基準	テスト 50%、提出物 30%、授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	三木綾乃	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティスト				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	和装・洋装スタイル①	前期の振り返りを含めトレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
2	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
3	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
4	メイクの歴史	古代～中世～近代のメイクについて (時代背景や特徴について)
5	年代別のメイク①	年代別 50

6	年代別のメイク②	年代別 70、80
7	年代別のメイク③	年代別 90、2000
8	年代別のメイク④	年代別の技術まとめ テスト、振り返り
9	卒業制作①	卒業制作(実践)
10	卒業制作②	卒業制作(実践)
11	卒業制作③	卒業制作(実践)
12	卒業制作④	卒業制作(実践)
13	卒業制作⑤	卒業制作(実践)
14	卒業制作⑥	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ファッション I		
必修選択	選択	(学則表記)	ファッション I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	スマホアプリ(VOGUE RUNWAY 等)、 雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE 等) 共通→筆記用具・ノート…ファイル		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める				
到達目標	トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る				
評価基準	テスト 50%、提出物 30%、授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	ブランドリサーチ I、クリエイティブヘアメイク I				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	米田理奈	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティスト				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイクとの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッションの繋がり
2	服の歴史について①	服の成り立ち(古代～中世)
3	服の歴史について②	服の成り立ち(中世～近代)
4	服の歴史について③	服の成り立ち(中世～近代)
5	服の歴史について④	服の成り立ち(中世～近代)

6	コレクションについて①	コレクション開催 4 都市について コレクションの歴史
7	コレクションについて②	コレクションブランドについて (シーズンサイクルなど)
8	コレクションについて③	オートクチュール
9	コレクションについて④	プレタポルテ(レディース・メンズ)
10	コレクションについて⑤	コレクションの歴史と開催都市等のまとめテスト
11	トレンドについて①	雑誌、SNS の見方と情報収集
12	テスト	テスト
13	トレンドについて②	トレンド研究を行う
14	トレンドについて③	トレンド研究を行う (ペアまたはグループ発表)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ファッション II		
必修選択	選択	(学則表記)	ファッション II		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	スマホアプリ (VOGUE RUNWAY 等)、 雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE 等) 共通→筆記用具・ノート…ファイル		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める				
到達目標	トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る				
評価基準	テスト 50%、提出物 30%、授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	ブランドリサーチ I II、クリエイティブヘアメイク I II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	米田理奈	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティスト				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイクとの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール メイクとファッションの繋がり
2	ファッションデザイナー①	雑誌・SNS を使いデザイナーのトレンドを調べる
3	ファッションデザイナー②	雑誌・SNS を使いデザイナーのトレンドを調べる
4	ファッションから見るメイクの分析①	ファッションごとのメイクを分析する (ワークシートでグループワークを行い発表)
5	ファッションから見るメイクの分析②	ファッションごとのメイクを分析する (ワークシートでグループワークを行い発表)

6	ファッションから見るメイクの分析③	ファッションごとのメイクを分析する（ワークシートでグループワークを行い発表）
7	ファッションから見るメイクの分析④	ファッションごとのメイクを分析する（ワークシートでグループワークを行い発表）
8	ファッションから見るメイクの分析⑤	ファッションごとのメイクを分析する（ワークシートでグループワークを行い発表）
9	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
10	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
11	テスト	テスト
12	ブランドプロデュース	今までの学習を活かして自分のブランドを作る
13	ブランドプロデュース	今までの学習を活かして自分のブランドを作る
14	ブランド発表	自分のブランドを発表
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワーク I-H		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワーク I-H		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	メイク道具一式		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学びサロン運営を行う				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付ける コミュニケーション力を身に付ける				
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50%、提出物 30%、授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビューティーメイク I				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	自己紹介・授業目的・目標・ゴール・評価基準について
2	1年次復習	施術確認
3	サロンワーク技術練習	モデラー作り(業界研究) 悩み改善メイク
4	サロンワーク技術練習	店舗作成に向けて 売上・原価・利益・収入・支出の理解 要望メイク
5	サロンワーク技術練習	サロンマナー・クレーム対応について カウンセリングについて カウンセリングメイク

6	サロンワーク技術練習・テスト	テスト・要望メイク OR カウンセリングメイク
7	サロンワーク技術練習	Bショー
8	サロンワーク技術練習	Bショー
9	サロンワーク技術練習	模擬サロン作成 グループ決め・コンセプト・メニュー・サロン・名刺・フライヤー作成 メニュー技術練習
10	サロンワーク技術練習	模擬サロン作成 グループ決め・コンセプト・メニュー・サロン・名刺・フライヤー作成 メニュー技術練習
11	サロンワーク技術練習	模擬サロン作成 グループ決め・コンセプト・メニュー・サロン・名刺・フライヤー作成 メニュー技術練習
12	サロンワーク技術練習・テスト	テスト・メニューメイク
13	サロンワーク技術練習	模擬サロンへ向けての準備
14	サロンワーク技術練習	模擬サロン
15	振り返り・総合授業	同上

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビューティーメイクⅠ-F		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーメイクⅠ-F		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、トレンド感のあるメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	ビューティーメイクⅡ、カラーコーディネートⅠ・Ⅱ、ファッションⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	樋口裕美子	実務経験	○		
実務内容	美容部員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明 対策①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーション詳細説明・練習
2	アドヴァンス検定対策②	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
3	アドヴァンス検定対策③	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
4	アドヴァンス検定対策④	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
5	アドヴァンス検定対策⑤	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
6	アドヴァンス検定対策⑥	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策

7	アドヴァンス検定対策⑦	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
8	アドヴァンス検定対策⑧	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
9	アドヴァンス検定最終確認	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
10	パーソナルカラーメイク スプリング	パーソナルカラー春タイプメイク提案・練習を行う
11	パーソナルカラーメイク サマー	パーソナルカラー夏タイプメイク提案・練習を行う
12	パーソナルカラーメイク オータム	パーソナルカラー秋タイプメイク提案・練習を行う
13	パーソナルカラーメイク ウィンター	パーソナルカラー冬タイプメイク提案・練習を行う
14	テスト	パーソナルカラー4タイプの中からモデルに似合うメイクの施術を行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビューティーメイクⅡ-F		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーメイクⅡ-F		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、トレンド感のあるメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビューティーメイクⅠ-F、ファッションⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	樋口裕美子	実務経験	○		
実務内容	美容部員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション パーソナルトレンドメイク10代	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 10代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクのデッサンシートを作成
2	パーソナルトレンドメイク10代	10代のトレンドメイクを相モデルにて練習を行う
3	パーソナルトレンドメイク20代	20代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクのデッサンシートを作成
4	パーソナルトレンドメイク20代	20代のトレンドメイクを相モデルにて練習を行う
5	パーソナルトレンドメイク30代	30代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクのデッサンシートを作成
6	パーソナルトレンドメイク30代	30代のトレンドメイクを相モデルにて練習を行う

7	パーソナルトレンドメイク40代	40代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクのデッサンシートを作成
8	パーソナルトレンドメイク40代	40代のトレンドメイクを相モデルにて練習を行う
9	パーソナルトレンドメイク50代以上	50代以上のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクのデッサンシートを作成
10	パーソナルトレンドメイク50代以上	50代以上のトレンドメイクを相モデルにて練習を行う
11	テスト	パーソナルトレンドメイクのテスト、年齢に合わせたメイクの提案・施術テスト
12	イベントメイク①	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
13	イベントメイク②	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
14	イベントメイク③	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジデジタルテキスト		出版社	株式会社 LenS creative	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	アーティストメイクⅠⅡ、ブライダルメイクⅠⅡ、スチールヘアメイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	三木綾乃	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティスト				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラーなど)/振り返り
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
3	夜会巻①	夜会巻(導入・練習)
4	夜会巻②	夜会巻(練習)
5	夜会巻③	本夜会(導入・練習)
6	夜会巻④	本夜会(導入・練習)

7	夜会巻⑤	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)
8	テーマに合わせたスタイル①	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(導入・練習)
9	テーマに合わせたスタイル②	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(練習)
10	テーマに合わせたスタイル③	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(テスト・振り返り)
11	洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	洋装スタイル③	カールアップスタイル作り(導入・練習)
14	洋装スタイル④	カールアップスタイル作り(練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジデジタルテキスト		出版社	株式会社 LenS creative	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	アーティストメイクⅠⅡ、ブライダルメイクⅠⅡ、スチールヘアメイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	三木綾乃	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティスト				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新日本髪①	授業の目的目標、評価基準、授業ルールの再確認 新日本髪(導入・練習)
2	新日本髪②	新日本髪(練習)
3	新日本髪③	新日本髪(練習)
4	新日本髪④	新日本髪(テスト・振り返り)
5	和装スタイル①	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
6	和装スタイル②	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)

7	和装スタイル③	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
8	パーティースタイル①	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
9	パーティースタイル②	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
10	アレンジスタイル①	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
11	アレンジスタイル②	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
12	卒業制作①	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン (展開図作成・練習)
13	卒業制作②	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン (展開図作成・練習)
14	卒業制作③	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン (展開図作成・練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト） 化粧品検定協会テキスト		出版社	ユアサポート 主婦の友社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みお解消できるようになる				
評価基準	テスト 30%、検定取得 20%、提出物 30% 授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス、日本化粧品検定3級・2級				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅡ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/対策 ①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	アドヴァンス検定対策②	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
3	アドヴァンス検定対策③	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
4	アドヴァンス検定対策④	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策

5	アドヴァンス検定対策⑤	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
6	アドヴァンス検定対策⑥	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
7	アドヴァンス検定対策⑦	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
8	アドヴァンス検定対策⑧	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
9	化粧品検定級対策① 間違いな美容知識をチェック	1年次復習
10	化粧品検定級対策② 皮膚・肌について知ろう	皮膚の構造～皮膚の機能(大項目)
11	化粧品検定級対策③ 肌の手入れと正しい知識	メイクアップの基本テクニック～肌悩みに応じた化粧品の使い方(大項目)
12	化粧品検定級対策④ 肌の手入れと正しい知識	肌タイプと見分け方～肌悩みに原因とお手入れ(大項目)
13	化粧品検定級対策⑤ 美肌・美ボディ生活を送るには	肌を劣化させるさまざまな要因～美しい肌を作る生活習慣(大項目)
14	化粧品検定級対策⑥ 復習	化粧品検定2級受験に向けての復習
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト） 化粧品検定協会テキスト		出版社	ユアサポート 主婦の友社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みお解消できるようになる				
評価基準	テスト 30%、検定取得 20%、提出物 30% 授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅠ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール
2	BCの仕事、百貨店とは・化粧品メーカーの組織・身だしなみについて	意識付け/ハンドデモを入れた一連の接客デモンストレーション ※各校判断で企業とタイアップ
3	製品特徴・アプローチ法	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等

4	化粧品と法律（医薬部外品等）、化粧品の定義、成分表示	ナチュラルコスメとオーガニックコスメの違いなども含め興味を持たせる
5	カウンセリングの流れ・ロープレ	カウンセリングの流れを確認
6	接客について、おもてなしの心、クレーム、スキンケア	接客する際の注意点、おもてなしとは、クレームの事例対処 肌の仕組みを学ぶ、季節ごとの肌変化
7	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代別の肌悩みを知る メイクアップのアドバイスの仕方を学ぶ
8	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案
9	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案
10	メイクアップ動画作成、動画 SNS 作成 オンラインによるカウンセリング について①	オンラインで行う際のお客様へ商品のご提案
11	メイクアップ動画作成、動画 SNS 作成 オンラインによるカウンセリング について②	商品を PR する方法(写真映え、加工、キャッチコピー)
12	メイクアップ動画作成、動画 SNS 作成 オンラインによるカウンセリング について③	商品を PR する方法(写真映え、加工、キャッチコピー)、SNS 投稿検証
13	メイクアップ動画作成、動画 SNS 作成 オンラインによるカウンセリング について④	オンラインでカウンセリングを行う時に対応方法 カウンセリングの方法
14	総復習	テスト、振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク I		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、 ブライダル雑誌		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出来るようになる				
到達目標	ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようになる				
評価基準	テスト 50%、提出物 30%、授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	ヘアアレンジ II III、サロンワーク I-E、サロンワーク II-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐久間一栄	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクアップアーティストとして長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本知識	授業の目的目標、評価基準、授業ルール ブライダルプランニング、ヘアメイクの仕事、衣装の種類
2	ブライダル概論・基礎知識・カラー ジュ作成	挙式の種類・挙式と披露宴会場とスタイル・ブライダル用語
3	洋装①	ブライダルメイクの基本(ベースメイク)
4	洋装②	ブライダルメイクの基本(ポイントメイク)
5	洋装③	ブライダルメイクの基本(ドレス別)

6	洋装④	お色直しの方法、ヘア概論
7	洋装⑤	テスト、振り返り
8	ゲストメイク①	ドレス別ヘアメイク
9	ゲストメイク②	お母様 黒留袖メイク
10	白ドレス～色ドレス～までの流れ	*ドレス補正ポイントメイキング&インナーについて(導入、実践)
11	お色直しの基本知識	和装 →洋装 一連の流れの実習 (導入、実践)
12	ゲストヘアメイク	シーンに応じたヘアメイク (導入、実践)
13	着物ヘアメイク①	着物スタイル
14	着物ヘアメイク②	理論・着物別・年齢別のメイク
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、 ブライダル雑誌		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出来るようになる				
到達目標	ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようになる				
評価基準	テスト 50%、提出物 30%、授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐久間一栄	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクアップアーティストとして長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	和装①	基礎知識(歴史、かつら、専門用語)
2	和装②	白無垢化粧の練習を入れる
3	和装③	色打掛・引き振袖(黒)
4	和装④	色打掛・引き振袖(黒)
5	和装⑤	白無垢化粧

6	和装⑥	白無垢化粧
7	七五三ヘアメイク	七五三の歴史・由来・小物・着物
8	パーティーヘアメイク	シーンに応じたヘアメイク
9	テスト	テスト、振り返り
10	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
11	卒業制作②	卒業制作(実践)
12	卒業制作③	卒業制作(実践)
13	卒業制作④	卒業制作
14	卒業制作⑤	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	特殊メイク I		
必修選択	選択	(学則表記)	特殊メイク I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他 特殊用品等		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする				
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる				
評価基準	テスト 50%、提出物 30%、授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	ヘアアレンジ II III、サロンワーク I-E、サロンワーク II-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	米田理奈	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティストとして長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 老人メイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法) 老人メイク導入
2	老人メイク②	老婆のメイクを実践する
3	老人メイク③	老父のメイクを実践する
4	舞台メイク①	舞台メイク導入
5	舞台メイク②	舞台の女役メイクを実践する

6	舞台メイク③	舞台の男役メイクを実践する
7	舞台メイク④	テスト
8	ボディアート	ボディアート等の実践
9	キャラクターメイク①	テーマに合わせたメイクを実践する
10	キャラクターメイク②	テーマに合わせたメイクを実践する
11	キャラクターメイク③	テーマに合わせたメイクを実践する
12	キャラクターメイク④	テーマに合わせたメイクを実践する テスト、振り返り
13	傷メイク①	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの導入
14	傷メイク②	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの実践
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	特殊メイクII		
必修選択	選択	(学則表記)	特殊メイクII		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他 特殊用品等		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする				
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる				
評価基準	テスト 50%、提出物 30%、授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	ヘアアレンジII III、サロンワークI-E、サロンワークII-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	米田理奈	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティストとして長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	アニマルメイク①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
2	アニマルメイク②	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
3	アニマルメイク③	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
4	アニマルメイク④	デッサンシートの基づいたメイク(テスト、振り返り)
5	日本の伝統メイク①	テーマに基づいたメイクの導入・実践

6	日本の伝統メイク②	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
7	日本の伝統メイク③	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
8	ボディペイント①(ボディジュエリー)	テーマに基づいたメイクの導入・実践
9	ボディペイント②(ボディジュエリー)	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
10	ボディペイント③(ボディジュエリー)	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
11	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
12	卒業制作②	卒業制作(実践)
13	卒業制作③	卒業制作(実践)
14	卒業制作④	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	アーティストメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	アーティストメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できる技術を総合的に身につける。				
到達目標	トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身につける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身につける				
評価基準	テスト 50%、提出物 30%、授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	特殊メイクⅠ、スチールヘアメイクⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	穴戸優	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティストとして長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	ショーメイク①	立体感や骨格をとらえたメイク(導入、実践)
4	ショーメイク②	Wラインの使ったメイク(導入、実践)
5	ショーメイク③	グリッター・メイク用品のデコレーション素材の使い方(導入、実践)
6	ショーメイク④	色の発色、グラデーションの見せ方(導入、実践)

7	ショーメイク⑤	テーマに沿った、フルメイク(テスト、振り返り)
8	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(導入、実践) テーマに合わせて行う
9	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(実践) テーマに合わせて行う
10	スチールメイク③	フォトコンで行うメイク制作(テスト) テーマに合わせて行う
11	スチールメイク④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
12	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践) テーマに合わせて行う
13	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
14	トレンドメイク③	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	アーティストメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	アーティストメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できる技術を総合的に身につける。				
到達目標	トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身につける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身につける				
評価基準	テスト 50%、提出物 30%、授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	特殊メイクⅡ、スチールヘアメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	穴戸優	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティストとして長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイクの歴史	授業の目的目標、評価基準、授業ルール確認 古代～中世～近代のメイクについて(時代背景や特徴について)
2	年代別のメイク①	年代別 20、30、40
3	年代別のメイク②	年代別 50
4	年代別のメイク③	年代別 60
5	年代別のメイク④	年代別 70、80
6	年代別のメイク⑤	年代別 90、2000

7	年代別のメイク⑥	年代別 2010
8	年代別のメイク⑦	年代別の技術まとめ フルメイクテスト、振り返り
9	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
10	卒業制作②	卒業制作(実践)
11	卒業制作③	卒業制作(実践)
12	卒業制作④	卒業制作(実践)
13	卒業制作⑤	卒業制作(実践)
14	卒業制作⑥	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	フォト&ファッション I		
必修選択	選択	(学則表記)	フォト&ファッション I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	【フォト】カメラ機材 【ファッション】スマホアプリ (VOGUE RUNWAY 等)、雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE 等) 共通⇒筆記用具・ノート…ファイル		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所よっての注意点等を理解し、実践力を身につける 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める					
到達目標	【フォト】 色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する 【ファッション】 トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る					
評価基準	テスト 50%、提出物 30%、授業意欲 20%					
認定条件	出席が総時間数の 3分2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者					
関連資格						
関連科目	アーティストメイク I II、特殊メイク I II					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。					
担当教員				実務経験		
実務内容						

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 光と影について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	写真のバランス・レイアウト	レイアウトやモデルのポージングについて
3	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 カメラの構え方やレンズの使い方を知る

4	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 露出補正を使いながら意図する明るさで撮る
5	カメラの使い方	撮影のフィードバックとレンズワークによる遠近感の変化 絞りやレンズワークによる背景のボケ方の説明
6	レフの使い方	室内でレフを使った撮影練習
7	作品作り①	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
8	作品作り②	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
9	スチール①	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
10	スチール②	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
11	スチール③	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
12	テスト	作品作りに合わせたテスト、振り返り
13	作品作り③	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
14	作品作り④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	フォト&ファッションⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フォト&ファッションⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	【フォト】カメラ機材 【ファッション】スマホアプリ(VOGUE RUNWAY 等)、雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE 等) 共通⇒筆記用具・ノート…ファイル		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所よっての注意点等を理解し、実践力を身につける 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める					
到達目標	【フォト】 色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する 【ファッション】 トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る					
評価基準	テスト 50%、提出物 30%、授業意欲 20%					
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者					
関連資格						
関連科目	アーティストメイクⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。					
担当教員				実務経験		
実務内容						

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイクとの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッションの繋がり
2	服の歴史について①	服の成り立ち(古代～中世)
3	服の歴史について②	服の成り立ち(中世～近代)

4	コレクションについて①	コレクション開催4都市について コレクションの歴史
5	コレクションについて②	コレクションブランドについて（シーズンサイクルなど）
6	コレクションについて③	オートクチュール
7	コレクションについて④	プレタポルテ(レディース・メンズ)
8	コレクションについて⑤	コレクションの歴史と開催都市等のまとめテスト
9	トレンドについて①	雑誌、SNSの見方と情報収集
10	トレンドについて②	トレンド研究を行う
11	ファッションデザイナー①	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
12	テスト	テスト
13	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
14	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークII-D		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークII-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ・フェイシャル・ボディ化粧品 AEA テキスト (サロンマネジメント)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営方法を習得する。				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける。				
評価基準	実技試験 60%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	川瀬みゆき	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロン・ホテルスパで勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション・前期の復習・サロンワーク準備
2	(例) サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
3	同上	同上
4	同上	同上
5	同上	同上
6	同上	同上

7	同上	同上
8	同上	同上
9	(例) サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
10	同上	同上
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	同上	同上
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ/AEAテキスト(各項目) シデスコガイドライン		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会 CIDESCO-NIPPON	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。 お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。				
到達目標	AEA 上級認定エステティシャン筆記試験合格基準				
評価基準	筆記試験 40%・コンサルテーション 40%・授業態度、提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA 上級認定エステティシャン CIDESCO インターナショナルエステティシャン AJESTHE 認定上級エステティシャン				
関連科目	フェイシャルマニピュレーション・フェイシャルスキンケア・ボディベーシック・ボディテクニカル サロントリートメント・サロンワーク・エステティック総論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	川瀬みゆき	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	1年振り返り	1年生振り返り
2	コンサルテーションシートの記入 について(ボディ)	コンサルテーションシートの記入方法について(ボディ)
3	コンサルテーションシートの記入 について(フェイシャル)	コンサルテーションシートの記入方法について(フェイシャル)
4	姿勢の判定や肺葉型 りんご型・洋なし型	姿勢の判断や肺葉型とその特徴 内臓脂肪型と皮下脂肪型 前弯・後弯・O脚・X脚、3つの胚葉型とその特徴

5	女性ホルモンとストレスと睡眠 セルライトと水分滞留	女性ホルモンとストレスと睡眠 セルライトと水分滞留
6	ホームケアアドバイス ボディ	運動学・栄養学・食事指導
7	ホームケアアドバイス フェイシャル	運動学・栄養学・食事指導
8	AEA 上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
9	AEA 上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
10	AEA 上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
11	コンサルテーションシートの フェイシャル記入について	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる
12	口頭試問対策	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価②
13	コンサルテーションシートの ボディ記入について	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる
14	口頭試問対策	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価③
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ/AEAテキスト(各項目) シデスコガイドライン		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会 CIDESCO-NIPPON	

科目の基礎情報②

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。 お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。				
到達目標	CIDESCO インターナショナル合格基準(後期) (AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準)				
評価基準	筆記試験 40%・コンサルテーション 40%・授業態度、提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA 上級認定エステティシャン CIDESCO インターナショナルエステティシャン AJESTHE 認定上級エステティシャン				
関連科目	フェイシャルマニキュレーション・フェイシャルスキンケア・ボディベーシック・ボディテクニカル サロントリートメント・サロンワーク・エステティック総論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	川瀬みゆき	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	CIDESCO 実技口頭試問対策 筆記試験範囲	CIDESC 試験筆記範囲 コンサルテーション 口頭試問 成績評価④
2	CIDESCO 実技口頭試問対策 筆記試験範囲	同上
3	CIDESCO 実技口頭試問対策 筆記試験範囲	同上
4	CIDESCO 実技口頭試問対策 筆記試験範囲	同上

5	CIDESCO 実技口頭試問対策 筆記試験範囲	同上
6	CIDESCO 実技口頭試問対策 筆記試験範囲	同上
7	CIDESCO 実技口頭試問対策 筆記試験範囲	同上
8	CIDESCO 実技口頭試問対策 筆記試験範囲	同上
9	CIDESCO 実技口頭試問対策 筆記試験範囲	CIDESC 試験筆記範囲 コンサルテーション 口頭試問 成績評価④
10	CIDESCO 実技口頭試問対策 筆記試験範囲	同上
11	筆記試験	成績評価⑤ 筆記試験模試
12	CIDESCO 実技口頭試問対策 筆記試験範囲	CIDESC 試験範囲 コンサルテーション 口頭試問 筆記試験範囲 補填
13	同上	同上
14	同上	同上
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロントリートメント I		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメント I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEA テキスト西洋・東洋のセラピー クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	研究レポートの作成と世界のエステを学ぶ ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、様々な技術を安全に行うことができる。 CIDESCO インターナショナル合格基準				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCO インターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	川瀬みゆき	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロン・ホテルスパで勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	トリートメント オリエンテーション	研究レポートについて説明・テーマの決定・作成方法と期日の説明 実習記録の作成方法の説明
2	研究レポートの作成 症例紹介	研究レポートの目次の作成 構成を考え、内容を決める
3	研究レポートの作成	研究レポートのテーマの選択理由、その他作成
4	研究レポートの作成	研究レポート作成
5	ハイドロセラピー タラソセラピー	理論 タラソセラピーとは歴史・効果/注意・禁忌事項・応用

6	ボディパック・ラップ	試験内で使用するボディパック・ラップの導入・実践
7	プレトリートメント 成績評価①② 研究レポートの作成 要約文の完成	プレトリートメントに必要な技術・知識の取得 (ボディパック・ボディブラシ・ボディスクラブ・パラフィンパック・ヒートマット・赤外線など) 成績評価①②※内容は各校判断とする 研究レポートの補填 要約文の完成
8	同上	同上
9	同上	同上
10	同上	同上
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	同上	同上
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロントリートメントII		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメントII		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティ科	2	45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEA テキスト 西洋・東洋のセラピー クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	世界のエステの知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、様々な技術を安全に行うことができる。 CIDESCO インターナショナル合格基準				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCO インターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングII・エステティック総論I・II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	川瀬みゆき	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロン・ホテルスパで勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	研究レポートの仕上げ・確認 ペディキュア導入	研究レポートの仕上げ・確認 ペディキュア デモンストレーション
2	ペディキュア	ペデュキュア 練習
3	同上	同上
4	東洋医学 リフレクソロジー	理論/東洋式と西洋式の違い・東洋式について(経絡・経穴) 基本手技/東洋式・西洋式

5	同上	同上
6	ストーンセラピー 成績評価①	ストーンマッサージ手技・歴史など
7	同上	同上
8	代替療法 アーユルヴェーダー	インド伝統医学の考え方と療法（理論） アーユルヴェーダーマッサージ（実技）
9	同上	同上
10	リンパドレナージュ	理論 リンパドレナージュとは（歴史・効果）/リンパ液・リンパ節について 理論 リンパドレナージュ/注意・禁忌事項など基本手技/下肢後面・腰背部
11	同上	同上
12	復習 マッサージ-マスク- ネイル(ペデュキュア)・メイクアップ 成績評価②	実技試験対策・ 用具類の衛生について
13	同上	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる +マッサージ・メイク練習
14	同上	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる +マッサージ・ネイル練習
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論 I - A		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論 I - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	新エステティック学理論編 I - III / AEA テキスト (各項目) シデスコガイドライン		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会 CIDESCO-NIPPON	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合 (資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学・運動学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。				
到達目標	AEA 上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 CIDESCO インターナショナル合格基準 (AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準)				
評価基準	筆記試験 60%・小テスト 20%・授業態度、提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA 上級認定エステティシャン CIDESCO インターナショナルエステティシャン AJESTHE 認定上級エステティシャン				
関連科目	フェイシャルマニピュレーション・フェイシャルスキンケア・ボディベーシック・ボディテクニカル・サロントリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	伊藤まゆみ	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	総論オリエンテーション 皮膚の構造・生理機能	シデスコ本試験(筆記) 及び AEA 筆記試験(任意)の概要説明 総論授業の年間スケジュール等確認 ※皮膚学・1年次復習(皮膚構造/皮膚の働き)
2	肌質・皮膚トラブル	肌別トラブル(脂性、乾性、敏感など) 皮膚トラブル (ニキビ、シミ、しわ、たるみなど) ※肌の PH 値、水分量、皮脂量の見極め方 ※皮膚トラブルの特徴と原因

3	アレルギー理論・その他の皮膚疾患	皮膚トラブル（アレルギー性皮膚疾患、アトピー性皮膚炎、接触性皮膚炎など） ※アレルギーの型及び理論的解釈 ※アレルギー疾患以外の皮膚疾患(原因、症状) の理解
4	救急法	・サロンでの救急法 ・心肺蘇生法と止血法 ・主な症状の怪我と病気 ・主な事故・怪我の手当て
5	電気理論・人体と電気 エステティック機器の種類と原理	電気の基礎知識 原子とは/イオン結合/電流と電子/動電気と静電気/電流の3大作用/直流と交流 電気信号伝達メカニズム・エステティック機器の種類・原理
6	化粧品と薬機法 化粧品の品質と品質特性	化粧品と薬機法 成績評価① ※皮膚学、救急法、電気学、化粧品学の確認試験（AEA 問題集より抜粋）
7	栄養学復習	栄養学の基礎知識/肌トラブル・身体トラブルと栄養の関係/フィトケミカル
8	運動生理学復習	運動の必要性/代謝と運動/運動処方/運動の実際(実演)
9	人体のあらまし細胞・組織・器官	人体の成り立ち・名称、主な器官の位置・大きさ 細胞の構造と働き、細胞の分裂、組織の分類・器官・器官系
10	循環器系	循環器系(心臓血管系・リンパ系)、血液成分
11	内分泌系	内分泌器官それぞれのホルモンの種類・作用
12	AEA 上級認定エステティシャン 演習問題	成績評価②
13	神経系	中枢神経系と末梢神経系
14	脱毛学 ※プロボディⅡにて実技導入	・美容脱毛学概論 ・脱毛法の分類と各特徴、美容電気脱毛法 ・皮膚組織と毛、皮膚組織の断面図・毛の構造 ・毛の特色・毛包の構造・発毛のしくみと毛周期 ・注意すべき皮膚疾患に対する知識と対処法・体質への配慮
15	総合授業	総まとめ ※技術理論と皮膚学、生理学、機器学、栄養学、運動学などの繋がりを確認させる ※口頭試問対策及び理解度の確認

シラバス

科目の基礎情報①				
授業形態	講義	科目名	エステティック総論II - A	
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論II - A	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4 60
使用教材	新エステティック学理論編I - III / AEA テキスト (各項目) シデスコガイドライン		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会 CIDESCO-NIPPON
科目の基礎情報②				
授業のねらい	エステティック知識総合 (資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ			
到達目標	AEA 上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 CIDESCO インターナショナル合格基準 (AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準)			
評価基準	筆記試験 60%・小テスト 20%・授業態度、提出物など 20%			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者			
関連資格	AEA 上級認定エステティシャン CIDESCO インターナショナルエステティシャン AJESTHE 認定上級エステティシャン			
関連科目	フェイシャルマニピュレーション・フェイシャルスキンケア・ボディベーシック・ボディテクニカル・トリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングII			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。			
担当教員	伊藤まゆみ	実務経験	○	
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	筋系・骨格系	筋肉の種類と特徴/骨の種類と構造/部位ごとの名称と働き
2	CIDESCO 筆記試験対策	・その他生理解剖学補足 ・ホメオスタシスと生命活動含む CIDESCO 筆記試験を想定した模擬試験及びその結果のフォロー講義

3	同上	同上
4	同上	同上
5	CIDESCO 筆記試験対策	・自然科学 ・最新美容技術 ・ガイドライン（筆記試験内容の補足部分） CIDESCO 筆記試験を想定した模擬試験及びその結果のフォロー講義
6	同上	同上
7	同上	同上
8	同上	同上
9	CIDESCO 筆記試験対策	・自然科学 ・最新美容技術 ・ガイドライン（筆記試験内容の補足部分） CIDESCO 筆記試験を想定した模擬試験及びその結果のフォロー講義
10	同上	同上
11	筆記試験	成績評価③
12	CIDESCO 筆記試験対策	・ガイドライン ・CIDESCO 筆記試験を想定した模擬試験及びその結果フォロー講義 成績評価④
13	同上	同上
14	同上	同上
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャルマニピュレーションⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャルマニピュレーションⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ/AEAテキスト10冊セット クリエヌ化粧品セット・フェイシャル化粧品		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。				
到達目標	CIDESCO インターナショナル合格基準 AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCO インターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高口明夏	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャルマニピュレーション オリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説前期の振り返り
2	フェイシャル用化粧品ガイダンス マスク（肌別・形状別）	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 （目的、効果、成分、使用法等）
3	オリジナルマッサージ スエデッシュマッサージ導入	オリジナルマッサージ デモンストレーション
4	フェイシャルカウンセリング	クライアントに応じコンサルテーションシートを仕上げる
5	AEA 上級エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 ・クレンジング～カウンセリング～シート記入～パック選択～マッサージ～仕上げ⇒アフター

6	メイクアップ	実技試験対策・ 用具類の衛生について
7	マッサージ-メイクアップ	マッサージ・メイク練習 成績評価①
8	ネイル	実技試験対策・ 用具類の衛生について
9	マッサージ-マスク-ネイル	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる +マッサージ・ネイル練習
10	デープクレンジング マッサージ-ネイル-メイク	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる +マッサージ・メイク・ネイル 成績評価②
11	同上	同上
12	ティンティング・ツイー징	デモンストレーション
13	同上	練習
14	ペディキュア	デモンストレーション 実技試験対策・用具類の衛生について
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャルマニピレーションⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャルマニピレーションⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ/AEAテキスト10冊セット クリエヌ化粧品セット・フェイシャル化粧品		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。				
到達目標	CIDESCO インターナショナル合格基準 AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCO インターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高口明夏	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 肌別・トラブル別の選択 皮膚生理学・化粧品学・機器	・実技試験を想定しての流れの説明 クレンジング・カウンセリング（肌分析）・ティンティング・ツイーピング ディープクレンジング・電気トリートメント・マッサージ・マスク・仕上げ ネイルケア・メイク・アフターカウンセリング ※肌タイプ別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
2	同上	同上
3	総合実技試験	本番の試験同様の流れで行う 成績評価①

4	アフターカウンセリング	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ティンティング・ツイーピング ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ ネイルケア・メイク アフターカウンセリング
5	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	同上
6	同上	同上
7	総合実技試験	本番の試験同様の流れで行う 成績評価②
8	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ ネイルケア・メイク アフターカウンセリング
9	同上	同上
10	同上	同上
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	同上	同上
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャルスキンケア I		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャルスキンケア I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEA テキストエステティックカウンセリング エステティック電気学、機器学・クリエーナ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用トリートメント (資格試験対応) ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。 電気機器の正しい取り扱い、効果、禁忌事項、留意点について理解する。				
到達目標	CIDESCO インターナショナル合格基準 AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCO インターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングII・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高口明夏	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャルスキンケア オリエンテーション	1コマ 担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標について解説 1年の振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル電気機器 直流電流	イオントフォーゼ・ディスインクラステーション 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 総論→電気学 ボディ→ガルバニック)
3	同上	同上

4	フェイシャル電気機器 交流電流	低周波 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 総論→電気学 ポディ→低周波)
5	同上	同上
6	フェイシャル電気機器まとめ 直流・交流電流	成績評価①
7	フェイシャル電気機器 パター	パター ディープ機器選択 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 総論→解剖生理学 ポディ→サクション)
8	同上	同上
9	フェイシャル電気機器 高周波	高周波（直接法・間接法・閃光法） 実技理論・デモンストレーション含む
10	同上	同上
11	同上	同上
12	フェイシャル電気機器まとめ パター・高周波	成績評価②
13	電気トリートメント選択方法 復習	クライアントに応じた機器の選択（カウンセリング含む） 禁忌事項・操作方法の確認
14	同上	同上
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャルスキンケアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャルスキンケアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEA テキストエステティックカウンセリング エステティック電気学、機器学・クリエーナ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。 電気機器の正しい取り扱い、効果、禁忌事項、留意点について理解する。				
到達目標	CIDESCO インターナショナル合格基準 AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCO インターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高口明夏	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	肌別・トラブル別の選択 皮膚生理学・化粧品学・機器	カウンセリングシート作成 選択理由・目的・効果
2	同上	口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法
3	総合実技試験（判定試験1回目）	本番の試験同様の流れで行う
4	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説

5	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ティンティング・ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ・ネイルケア・メイク アフターカウンセリング
6	同上	同上
7	総合実技試験（判定試験2回目）	本番の試験同様の流れで行う 成績評価③
8	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ティンティング・ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ・ネイルケア・メイク アフターカウンセリング
9	同上	同上
10	同上	同上
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	同上	同上
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボディベーシック I		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディベーシック I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 技術編 I・理論編 III AEA テキスト 10冊セット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得 ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。				
到達目標	CIDESCO インターナショナル合格基準 AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCO インターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリング II・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田畑優子	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ボディベーシック オリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説前期の振り返り
2	ボディ分析 コンサルテーションシートの記入 実習記録シートの記入方法の確認	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニング 実習記録シートの記入方法の確認
3	オリジナル・スウェディッシュマ ッサージ導入	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入
4	ボディ分析 スウェディッシュマッサージ練習	マッサージ練習
5	同上	同上

6	同上	成績評価① スウェディッシュマッサージ
7	脱毛 Wax (Warm)	脱毛理論/体毛について毛髪学/成分/ワックス脱毛の目的と効果 脱毛理論/成分/注意事項・禁忌事項 ワックス実技 (腕・足) (デモンストレーション・実技)
8	同上	同上
9	AEA 上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
10	同上	同上
11	コンサルテーションシート記入 (冷え、貧血、低血圧)	ボディトラブルの理論的解説 (原因・症状・改善策など) +スウェディッシュマッサージ練習 or 脱毛 (Warm)練習 運動生理について理論的解説 コンサルシートを仕上げる 成績評価②
12	コンサルテーションシート記入 (むくみ、低体温)	同上
13	コンサルテーションシート記入 (セルライト、脂肪)	同上
14	脱毛 Wax (Hot)	ワックス実技 (脇・Vライン) (デモンストレーション・実技)
15	総合授業	総まとめ授業を行う